

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成16年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募時の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
1	特定非営利活動法人 ごめん・なはり線を支援する会	県東部地域のごめん・なはり線を活用したまちづくりの推進をはかる。事業としては、まちづくり活動の実践、市町村や地域住民のまちづくり活動に対する支援、同線及び東部地域の情報発信など。「ごめん・なはり線友の会」という同線のファンクラブを運営(会員900名)。今回申請事業は「沿線花いっぱい運動と地域コミュニティの再生」。安田町沿線の田圃約3千㎡に花いっぱい花園を開く。花の苗・種代金、肥料・農薬・作業用具等、遊歩道設置材料費、花園の看板設置費用、工本等専門的作業への謝礼等。県東部地域
2	特定非営利活動法人 いきいきみはら会	高齢者に対する介護、公共事業、環境保全、青少年の社会活動参加等の支援を目的とする。今回は「地域の森林環境保全と青少年健全育成及び高齢者の自立支援の拠点づくり」がテーマ。環境保全、高齢者の生きがい確認、子供たちとの良好な関係構築等をはかりながら、間伐材で丸太小屋を造り、森林浴の場を構築。都市部の人との交流の場、自然環境啓発と体験学習の場を作る。丸太小屋の建設・付帯設備費、草花の植付、遊歩道・山菜公園整備費、森林浴小屋建設費、保険料・消耗品費等。三原村
3	特定非営利活動法人 み・ら・い	障害児者・家族に関わる相談活動、地域生活支援、研修活動、情報提供活動、交流活動、生活・介護への支援に関する事業により社会福祉に寄与する。テーマは「障害にとらわれず個々の個性を引き出し地域社会の中で共生していく」。4月1日、地域の人たちの協力により軽作業を請け負う知的障害児者の小規模作業所を開所する。作業は、月曜から金曜まで病院の清掃・ニラの出荷作業などを行うもの。小規模作業所建築のための費用。高知市およびその周辺
4	特定非営利活動法人 訪問理美容ネットワークゆうゆう	高齢者・要介護者の在宅訪問理美容、山村過疎地域の無美容室・理容室地域や介護施設・老人施設への出張理美容、介護予防活動、後継人材育成の為に教育活動、給食サービス、広報活動等を行う。今回申請事業は介護痴呆予防の為に美容講座「べっぴんちゃん美容講習会」の開催。高知県や県社協の協賛・協力を得て、県下15の病院・老人施設・中山間過疎地域などで開催する。理美容スタッフ・運転手への謝礼、交通費、クリーニング代金・化粧品・貸小物等消耗品費、通信費等。高知県内
5	南国市こども劇場	すぐれた舞台芸術の観賞と自主的な地域活動を通して、子どもたちの健全な成長をはかる。今回は「作る・遊ぶ！作る・食す！」をテーマに「おとぎの国のパン作り・お面作り・劇あそび」「マジックをたのしむ・マジックに挑戦！」「自然素材で手作り楽器を作ろう！合奏！」の3つの行事を行い、子どもたちに生の体験をしてもらい手作りの楽しさを味わってもらうとともに地域の子育て仲間の出会いの場・機会を提供する。会場費、講師・ボランティアスタッフ謝金、材料費、かし制作費、保険料、写真代等。南国市

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成16年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募時の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
6	高知S G G善意通訳クラブ	外国人観光客や県内在住の外国人の方に高知城をはじめとする県下の観光地の通訳ガイドや国際交流イベントでの異文化交流を通じ高知の国際親善を支援する。高知城の常駐ガイドにより年間20数カ国の外国人観光客の案内を充実させる。同城内展示物の説明文を英訳したマニュアルを作成し、廊下門のパンフレットの案内の向上をはかる。安芸内原野陶芸センター・北川村中岡慎太郎記念館にて国際交流イベントを実施。事務費、通信費、講師謝金、資料代、ガイド交通費・研修費、研修費、保険料、パンフレット印刷費等。県内
7	南国フレンドパーク	障害児が地域の人々と活動を共にすることにより、生活経験を広げ、社会性を養い、好ましい人間関係を育てることを目的とする。また、障害や介助等についての知識をもつ高校生等のボランティアの育成、協力促進をはかる。16年度は「プールへ行こう(ヨネツこうち)」「レオワールドへ行こう」「クリスマス会」「雪遊びをしよう(大山スキー場)」などを実施する予定。ボランティア謝礼等報奨費、文具代・プレゼント代、ケーキ代、フィルム代等消耗品費、切手代等通信費、旅費、保険料、プール使用料、バス借上料等。南国市
8	天然資源活用委員会	「人と自然の共生」を目指し安芸市・中芸5カ町村を中心とする四国南東部の天然資源を有効に活用したまちおこしを行う。活動は、グラスボート船運航により消波ブロックに生息するサンゴ礁の観賞、奈半利海岸でのシュノーケリングを中心とした自然学校の開催など。老朽化したグラスボート船の修繕、グラスボート船運航における受付業務改善(FAX・HPの利用)、サンゴ関連のお土産品(写真等)制作等。ホームページ作成、ファックス・電話引込み、パソコン・プリンター購入、ポスター等お土産品の制作、グラスボート船修繕費、事務用品費等
9	高知いのちの電話協会	ボランティア活動による電話相談を通じて、青少年・高齢者およびその家族の心の悩み解決を援助する。電話相談業務とともに相談員の養成事業も行う。現在100名の相談員が1日12時間4交代で活動し、年間4300件の相談を受けている。将来は365日24時間態勢を目指す。2001年より12月に全国一斉の自殺防止のリーダールール電話相談を実施。来年度も通常事業の他に電話相談員養成講座、施設見学などを実施。消耗品費、通信費、水道・光熱費、会議費、連盟会費、研修養成講座費用、書籍購入等。高知県内
10	特定非営利活動法人 高知県難病団体連絡協議会	現在、高知市だけでも330名の難病病弱児がおり、当法人は難病患者・家族等に対して、難病・生活相談、医療相談・医療講演会に関する事業を行い、豊かな医療と福祉の実現をはかるとともに、病気に対して回りが理解する環境を作っていく。17年2月、ソレで鹿児島大学の銚之原教授を招き「小児慢性疾患のキャリアオーバーと小児保健」について講演してもらい、県の保健担当者・医師とのパネディスカッションも実施する。講師招聘費、県内医師への謝礼、広告費、通信費、弁当代、看板費他。高知県内

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成16年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募時の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
11	特定非営利活動法人 地域福祉サポート あ・とむ	～あたたかい暮らしのおてつだい～をテーマに障害者・高齢者の人権擁護並びに地域福祉の増進を図る。相談事業や音楽を媒介にした地域交流や福祉関連職員の資質の向上等に取り組む。毎月2回「成年後見制度に関する無料相談」、年間4回の「普段着で楽しむ音楽会」、年間2回「音楽であそびましょう」などを実施。「楽しい音楽会」の出演者への出演料、音楽療法講師への謝礼、成年後見制度無料相談会の相談員への報酬、相談会の会場費(24回分)、資料・広告等消耗品費、通信費等。土佐市
12	特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター	四国の自然史の調査研究、普及啓蒙事業を通じ、自然環境保全および復元、地域の経済・社会・文化的発展に寄与する。今回のテーマは「県内の傷病野生動物救護活動及び環境教育活動」。附属施設として開設済みの野生動物救護センターで救護と野生復帰のためのリハビリテーション活動を行う。また、県内の他の救護施設(動物園・動物病院など)とのネットワークの緊密化をはかるとともに、復帰できない動物の里親ボランティアネットワークを構築。交通費、薬品・飼料・消耗品等購入費、施設借用・水道光熱費、通信費、人件費等。四国地方
13	特定非営利活動法人 オフィス ティーバンズ	土佐山田町及びその周辺地域の個性ある発展を目指し、地域活性化の推進、地域振興策の企画・立案、人材育成・拠点整備事業等を行い公益の増進に寄与する。テーマは物部川の水質浄化等の環境問題への取り組み、流域地場産業・観光の振興等で、5月9日、地域おこしの契機となる複合型イベント「物部川ジャンボリー」を開催。4月29日から「フワフワ美術館」も開催。フワフワ20基設営費、パネル展示等の啓発イベント費、交通費・資料作成等のシポジウム開催費、食堂ブース設営、広報・宣伝費、花火費用等。土佐山田町及びその周辺地域
14	自立を支援する親たちの会	幡多地域の不登校の小中高生の居場所づくりと親たちの助け合いネットワークづくりを行い、子どもたちの自立支援をはかる。現在の在籍生徒は小学生4名、中学生11名、高校生4名の合計19名で、中村市桜町の民家を借り受け、「陽(ひざし)の家」として小中学生の教科学習、ケーキ作り・ビーズ・染織・押し花・アトピア・陶芸・木工教室などの体験イベント、親の会を開いての助け合い、講師を招いての講演会、の4つの活動を行っている。家賃、光熱費、通信費、教室備品、教材費、講師謝礼、印刷代等。幡多地域